

平成15年度 都市景観大賞「美しいまちなみ賞」受賞地区概要

「美しいまちなみ大賞」

地区名	応募者
古川町歴史的景観地区	・古川町区長会 ・古川町
赤煉瓦みなと地区	・特定非営利活動法人 赤煉瓦倶楽部舞鶴 ・舞鶴市
島原武家屋敷地区	・下の丁町内会 ・島原市

「美しいまちなみ優秀賞」

地区名	応募者
おゆみ野モデル街区 「おゆみ野駅南」地区	・おゆみ野南21自治会 ・千葉市 ・都市基盤整備公団 千葉地域支社
晴海アイランドトリトンスクエア地区	・晴海をよくする会 ・中央区 ・(株)晴海コーポレーション ・都市基盤整備公団 土地有効利用事業本部 ・晴海一丁目地区第一種市街地再開発事業(西地区) 設計共同体(株)日建設計・(株)久米設計・(株)山下設計)
鈴鹿・長宿地区	・鈴鹿・長宿区域街づくり協定運営委員会 ・座間市
しんまちボードウォーク地区	・徳島市東船場商店街振興組合 ・徳島市 ・(有)中川建築デザイン室
竹田地区	・NPO法人竹田まちなみ会 ・竹田市

【審査委員長 中村良夫 東京大学名誉教授 総評】

全般的に本年度の応募は、見どころのある秀作が多かった。

大賞を得た「島原武家屋敷街地区」は伝統的建造物群保存地区の指定こそされていないが、石垣塀と土の道の中央を流れる水路は、日本の町並みを代表する景観をつくっている。しかも、この景観保護の原動力は「下の丁町会」の住民協定によるものであって、必ずしも法的担保があるわけではない。いわば、市民の強い内発的な意欲で、忍耐強い維持管理がその景観を守ってきた。

大賞としての高い評価を得た、岐阜県の「古川町歴史的景観地区」の場合は、景観条例による事前協議などの制度的枠組みが働いている。しかし、この町の場合も、町並みに関する住民の暗黙の美意識こそ最大の鍵に違いない。「相場くずし」への危機感はそのから生まれた。それが事事しくない「無事の美」を達成し得た最大の秘密であろう。同じく、優秀賞の「鈴鹿・長宿地区」の場合もささやかな例ではあるが、法的担保を要しない郷土愛に基づく紳士協定が、何気ない、心やすらぐデザインを生んだ。

大賞を得た「赤煉瓦みなと地区」は、明治日本の記憶を留める旧軍港のたたずまいを見せる貴重な町並みである。市による建築保存と市民団体による積極活用が優れた空間を育てつつある。今後、残りの八棟の保存活用の行方を見守りたい。

「おゆみ野駅南地区」と「しんまちボードウォーク地区」については、議論が分かれたが、いずれも官民境界部の柔軟な取扱いが、優れた景観と町の活性に強い影響を与える好例として印象に残った。

都市景観における眞実(リアリティ)と虚構(フィクション)は、どう識別されるのか。公と私のあいだに宿るその答えをめぐる、充実した議論が交わされた審査会であった。